



予防医学的視点からの創造的な研究テーマを募集

— 5月1日より公募開始 —

株式会社 山田養蜂場 (岡山県苫田郡鏡野町、代表: 山田 英生) は、ミツバチ研究や予防医学的研究の発展を目的とした2012年度「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」助成対象研究テーマの募集を5月1日より開始します。本年度から、新たに「新規応募研究」「継続推進研究」の2つのプログラムを設けるとともに、年齢制限を外した継続的な研究支援体制にて、幅広い視野をもつ研究者の創造的な研究テーマを募集します。募集内容は下記の通りです。詳細は添付の募集要項をご覧ください。

募 集 内 容

1. プログラム

1) 新規応募研究

- テ ー マ : ①ミツバチ産品に関する予防医学的研究。
- A. 脳・神経・精神
 - B. 循環器・消化器・代謝 (メタボリックシンドロームなど)
 - C. 免疫 (がん・アレルギーなど)
 - D. 耳鼻咽喉・眼・口腔
 - E. アンチエイジング (皮膚・筋肉・骨・長寿など)
- ②ミツバチに関する基礎研究、養蜂技術開発研究

応募資格 : これまでに本研究助成の採択歴がない研究者および養蜂家。年齢制限なし。

助成金額 : 1テーマにつき 50~200万円

助成期間 : 1年間 (2012年10月1日~2013年9月30日)

2) 継続推進研究

テ ー マ : 過去に本基金にて実施したテーマの発展的研究。分野の指定はありません。

応募資格 : これまでに本研究助成の採択歴がある研究者およびその共同研究者。

助成金額 : 1テーマにつき 200~1,000万円

助成期間 : 1~3年間 (2012年10月1日開始)

2) のうち特に優秀な業績を収めたテーマは、「特別発展研究」として継続支援します。

2. 応募方法

みつばち健康科学研究所ホームページ (<http://www.bee-lab.jp/>) 内
「みつばち研究助成基金」サイト (<http://grant.bee-lab.jp/>) 応募フォームからの
応募に限ります。

3. 募集期間

2012年5月1日 (火) ~ 6月29日 (金) (17:00締切)

4. 「みつばち研究助成基金」に対するお問い合わせ先

みつばち健康科学研究所 みつばち研究助成基金事務局 E-mail:bee-lab@yamada-bee.com

山田養蜂場の研究開発は、創業者である現会長の山田政雄が、娘の健康を願って始めたローヤルゼリーの研究を原点としています。以来、長年にわたり研究を続け、2006年5月には、みつばち健康科学研究所を設立。予防医学の観点からミツバチ研究および天然素材の有効性を追求する研究活動を続けています。

「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」は、2008年、創業60周年を機に設立され、これまで123の研究テーマを助成してきました。2012年度も、国内外から広く研究テーマを募り、グローバルな活動を目指しています。

<本件の「記事掲載」に関するお問合せ先>

株式会社 山田養蜂場 広報室 柏原 (mail: kk0964@yamada-bee.com)、寺田、木村
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194
TEL:0868-54-1906 (月~金 9:00~17:30、土日祝除く) / FAX:0868-54-3346



山田養蜂場 みつばち研究助成基金

Yamada Research Grant

2012年度 募集要項

株式会社 山田養蜂場

株式会社 山田養蜂場は、本要項に準じ、幅広い視野をもつ研究者による創造的な研究テーマを公募します。

1. 目的

株式会社 山田養蜂場では、創業当時の「一人のひとの健康のために」との思いを受け継ぎ、予防医学的健康観から「自然と人と健康」を結ぶための研究を続けております。2008年度に設立された「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」は、幅広い視野をもつ研究者による創造的で有用な研究テーマを支援し、科学的な解明を進めることで、予防医学的研究ならびにミツバチ研究をさらに発展させることを目的としています。

2. 各研究助成プログラム

ミツバチ産品（ローヤルゼリー、プロポリス、蜂蜜、蜂の子、花粉荷など）を始めとする天然素材に関連し、これまでに報告されていない研究テーマに限ります。下記1) 2) より研究プログラムを選択し、応募ください。

1) 新規応募研究

対象：これまでに本研究助成の採択歴がない研究者、および養蜂家。年齢制限はありません。日本語又は英語でコミュニケーション可能な方に限ります。

テーマ：① 予防医学的研究。ミツバチ産品に関する下記の分野を優先します。

- A. 脳・神経・精神
- B. 循環器・消化器・代謝（メタボリックシンドロームなど）
- C. 免疫（がん・アレルギーなど）
- D. 耳鼻咽喉・眼・口腔
- E. アンチエイジング（皮膚・筋肉・骨・長寿など）

② ミツバチに関する基礎研究、養蜂技術開発研究

2) 継続推進研究

対象：これまでに本研究助成の採択歴がある研究者およびその共同研究者。年齢制限はありません。日本語又は英語でコミュニケーション可能な方に限ります。

テーマ：ミツバチ産品に関する予防医学的研究。

過去に当研究助成基金にて実施したテーマの発展的研究を募集します。分野の指定はありません。

研究の継続により、優れた研究成果が期待され、かつ発展の見込まれる研究テーマを優先します。

なお、2)のうち、特に優秀な業績を収めたテーマについては、特別発展研究として毎年1～2件程度を当研究助成基金が推薦し、支援を続けて参ります。支援内容は、研究を一層発展させるための研究者の紹介、供与試料、研究費等、申請者と協議の上、決定します。

3. 研究期間および助成金額

プログラム	1) 新規応募研究	2) 継続推進研究
研究期間	1年 (2012年10月1日～ 2013年9月30日)	1～3年 (2012年10月1日開始。但し、1年毎に進捗を 報告頂き、継続の是非を審査します。)
助成額/件	50～200万円	200～1,000万円

4. 審査基準

- (ア) 本要項に準じていない応募者は、いかなる場合においても審査対象には含まれません。
- (イ) 食品分野において、素材の安全性は豊富な食経験により確認できますが、機能性は、伝承によるものも多く、科学的証明が十分とは言えないことから、人の健康に関わる機能性を真に評価するためには、ヒトでの試験の実施が求められます。そのため、当研究助成基金では、予防医学的健康観に基づいたヒト試験、またはヒトでの試験につながる有効性試験を優先します。ただし、極めて独創性の高い試験については、この限りではありません。
- (ウ) 評価方法が確立されている研究ならびに養蜂産品を用いた予備試験が実施済みの研究を優先します。
- (エ) 過去に本研究助成を受けたことがある応募者で、誓約書に記載の事項を遵守されなかった方は、審査対象には含まれません。

5. 応募方法

みつばち健康科学研究所ホームページ内のみつばち研究助成基金サイトより応募フォームに必要事項をご入力の上、応募ください。なお、原則として応募フォームによる応募に限らせて頂きます。その他の方法で応募頂いても審査対象となりませんのでご注意ください。また、申込受付期間中は、登録内容の修正が可能です。登録内容の修正時には、登録完了時にダウンロードできるファイルが必要ですので、必ずファイルを保存ください。ご入力頂いた登録内容につきましては、当社で厳重に保管致しますので、予めご了承下さい。

◆みつばち健康科学研究所ホームページ

<http://www.bee-lab.jp/>

6. 研究材料の提供

採択された場合には、研究用のミツバチ産品試料（ローヤルゼリー、プロポリス、蜂蜜、蜂の子、花粉荷）およびメリンジョレスペラトロールを供与致しますので、ご希望の方は、応募時にその旨をご記入ください。なお、提供する試料の詳細につきましては、内定通知後、別途相談の上、決定いたします。

◆提供可能な研究材料掲載ページ

http://www.beelab-grant.com/grant/grant_2012/sample.html

7. 申込受付期間

2012年5月1日～6月29日（17:00 締切）

8. 選考および決定

学術研究機関及び産業界の専門家を中心とした、外部審査員を含む、当研究助成基金の審査委員会にて審査・決定します。なお、「新規応募研究」については、上述の審査委員会とは異なるみつばち研究助成基金審査員候補者データベースより分野毎に選定された審査員に

よる一次審査（書類審査）を行った後、上述の審査委員会にて審査・決定します。応募者には応募締切り後2ヶ月程度でメールにて採否を通知致します。

また、採択結果はみつばち健康科学研究所ホームページ等で公開します。なお、審査基準に基づき、当研究助成基金の審査委員会にて厳正に審査致しますので、採否の理由に関するお問い合わせには回答致しかねますことを予めご了承ください。

9. 助成金の交付と使途

助成金は、原則として2012年11月末までに採択者の指定する口座に交付します。ヒト試験での採択の場合には、所属先もしくは試験実施施設を管轄する倫理委員会の通過を交付条件と致します。助成金の使途につきましては、原則として研究計画書に記載の通りとします。

10. 個人情報の取扱いに関する事項

(1) 個人情報の利用範囲

当社が本研究助成に関連して取得する個人情報は、応募受付から、選考、採否決定通知、助成金贈呈など助成選考に関する一連の業務に必要な範囲に限定して利用します。また、一連の業務に必要な範囲において、業務に携わる協力会社に個人情報を提供する場合がございます。個人情報保護に関するお問合せは末記連絡先へお問合せ下さい。

(2) 個人情報の公開範囲

当社は本研究助成が決定した場合、採択者（所属団体を含む）、助成テーマの決定内容に関する情報を一般公開します。

(3) 個人情報の開示・訂正・利用停止等

取得した個人情報につき、開示・訂正・利用停止等の請求を受けた場合には、当社は、本人確認を行った上で適切かつ速やかに対応します。

11. 研究報告

(1) 報告書

2013年9月30日現在までの助成研究の実施状況および成果すべてについて、最終報告時提出書類一式、「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」最終報告書論文フォーマット、支払明細書、および下記報告会の要旨集に掲載する研究要旨（A4一枚）を各1部、山田養蜂場本社にご提出頂きます。提出期限は、2013年10月20日と致します。

(2) 報告会

研究期間終了後、山田養蜂場本社が開催する成果発表会に必ず出席いただき、口頭もしくはポスターにて、助成研究の成果を発表して頂きます。やむを得ず欠席する場合は、原則として代理人を立てることとします。

12. その他注意事項

(1) 誓約書の提出

助成が決定した方には、助成研究に関する誓約書を提出頂きます。誓約書の内容については、みつばち健康科学研究所ホームページをご参照ください。

(2) 助成の中止、助成金の返還

報告書を予定期日までに提出しない、研究内容が応募時と著しく異なる、助成研究期間前に発表済みの成果を報告した、誓約書に記載の事項を遵守しないなど、助成の目的に沿わない行為が認められた際は、助成を中止し、助成金の一部もしくは全額を返還して頂く場合があります。

(3) 研究成果の発表

採択者が助成研究の成果を、学会、論文、その他出版社または報道機関からの取材等により発表する場合は、内容、時期、発表の方法などを、必ず事前に山田養蜂場本社に連絡して頂きますようお願い致します。なお、その連絡の時期は、原則として学会は発表要旨提出の30日前まで、論文は投稿前と致します。万一連絡時期を超過した場合は、その時点で速やかに山田養蜂場本社にご連絡ください。また、発表の際には「山田養蜂場 みつばち研究助成基金」を受けている旨を必ず表現するものとします。論文やその他出版物における発表の場合には、下記謝辞をご参照ください。

和文：「本研究(または、本研究の一部)は山田養蜂場 みつばち研究助成基金の援助を受けて実施した」

英文：「 This research was supported (in part) by Yamada Research Grant.」

以上

連絡先

株式会社山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所
みつばち研究助成基金事務局 結石(けいし)、小林、猪名川(いながわ)
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194

Mail: bee-lab@yamada-bee.com

みつばち健康科学研究所ホームページ: <http://www.bee-lab.jp/>
